

東北研究室

1. はじめに

東北研究室は、中枢都市・仙台を中心に、地域に根ざし、土地利用、交通、地域振興、環境の各分野を対象とした調査、分析、計画立案、政策・事業評価等の業務を行っています。

地域の大学・経済界・NPO等と連携し、東日本大震災を踏まえつつ、地域社会を創造するための計画、政策技術の開発に取り組んでいます。

2. 主な研究活動

(1) 受託業務

東北地方の行政機関（国、地方公共団体）や民間企業から調査業務を受託しています。

(2) 学会活動

土木学会、日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）、東北都市学会等の研究発表会や各種行事に参加しています。

(3) 自主研究活動

東北の学識経験者等との交流を通じて、都市・交通政策に係わる自主研究活動を行っています。

- ・人の交通行動パターンを反映した土地利用交通モデル等の政策評価ツールに係わる開発・研究
- ・人口減少における郊外住宅地に係わる調査研究
- ・都市・交通政策の経済評価に係わる調査研究

3. 主な研究テーマ

(1) 人口減少社会に対応した地域活性化に向けた都市構造、交通政策の調査研究

人口減少社会では、豊かな生活に向け、地域に応じた政策の方向性を見出すことが不可欠です。

当研究室では、土地利用・施設に応じた人の交通

行動データの分析を通じて、経済活力・立地適正化等、都市政策及び交通政策が環境に及ぼす影響を評価分析し、持続可能な地域形成を支援する政策立案の調査研究活動に取り組んでいます。

- ・経済活力を高める政策の調査研究
- ・土地利用交通モデル等の政策評価ツールを活かした都市圏構造、都市機能誘導地域の調査研究
- ・低炭素都市づくりに向けた施策評価の調査研究
- ・公共交通を活用した地方創生に係わる調査研究

(2) 社会資本が社会・経済に及ぼす影響の調査研究

道路などの交通ネットワークの整備は、社会・経済の様々な面に影響を及ぼします。

当研究室では、応用一般均衡分析などの科学的アプローチにより、東北地方で計画・構想されている道路ネットワーク整備が、人口、雇用、生産額、所得などに及ぼす影響を定量的に計測し、限られた財源の中で如何に社会資本整備を適切に行うべきか、研究・提案を行っています。また、ネットワークの維持・管理も重要なテーマであり、通行止めなどによる影響分析を行うなど、広範な視点から交通ネットワークの調査研究を行っています。

- ・道路網整備の経済評価に係わる調査研究
- ・鉄道整備の需要予測及び経済評価に係わる調査研究

(3) 様々なニーズに対応した政策立案

東北地方には、個性豊かな地域が存在しています。当研究室では、地域の個性を活かしつつ、地域ニーズに対応するために、住民・企業の声を反映した協働型まちづくりに取り組んでいます。また、東日本大震災を踏まえ、地域の現状に関わる情報を収集し、復興に関わる調査活動を行っています。

- ・高速道路の利用促進に向けた調査
- ・世界遺産等の観光まちづくりに係わる調査
- ・被災地における公共交通利用促進に係わる調査